

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2020

8

vol.272

福島県酪農業協同組合 第27回通常総会が開催される

福島県酪農業協同組合第27回通常総会



第二十七回通常総会が、六月二十五日(木)に郡山市日和田町の福島県農業総合センターにおいて開催されました。

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による議決権行使を組合員の皆様へお願いをし、また、御来賓の招待を見合わせさせていただけました。

宗像実代表理事組合長は、「本来であれば日頃より組合事業にご指導ご鞭撻を頂いております関係者の皆様にご出席いただき、尚一層のご理解とご協力をいただくべき所ではございますが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により多くの方々が集まるということは難しいという判断により書面議決による総会となりました。新型コロナウイルス感染症は世界の経済や社会情勢にかつて経験したことのない深刻な影響を及ぼしています。四月四日に七都府県、そして十六日に全国の都道府県に緊急事態宣言が出されました。感染予防のため様々な対策が講じられましたが、国内における感染者数は六月二十五日現在一万八千人余りでしたが秋から冬にかけての二次、三次感染は注意は払う必要があります。組合としましては対策を講じていかなくは

ならないと思っております。本来ですと、本日の総会にご出席いただき組合事業にご理解とご指導をお願いすべき御来賓の皆様、そして組合員の皆様には陰ながら感謝を申し上げます。」と挨拶を申し上げました。

通常総会時正組合員二五四名、本人出席十三名、書面議決書二百九名で合計三二二名の出席がありました。



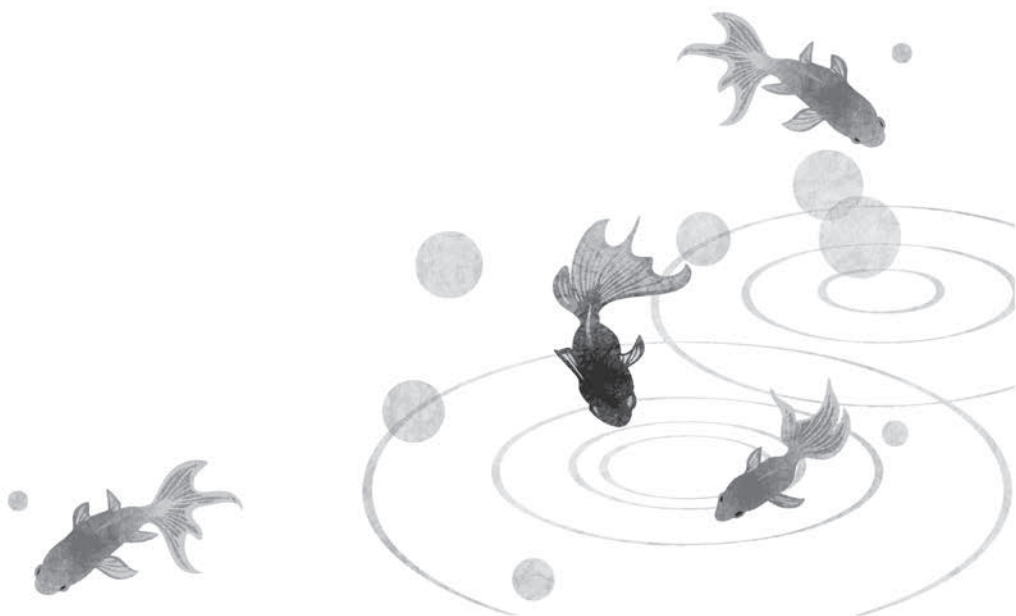
議長には浜支所の渡部隆雄氏が選任され、付帯決議を含めた七議案が上程されました。全議案が賛成多数で承認

され、通常総会を終了することができました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常総会の席において表彰をすることはできませんでしたが、受賞された方々の常日頃の努力、活動に

対し敬意を表します。おめでとうございます。

次年度の通常総会につきましては、例年通りの開催内容で行う予定でありますので、是非ご出席を賜りますようお願い申し上げます。



FD24会

第二十四回
通常総会を開催

去る七月九日、本宮の酪農総合センターにて二十四回目となるFD24会（会長・佐藤弘永）の通常総会を開催しました。

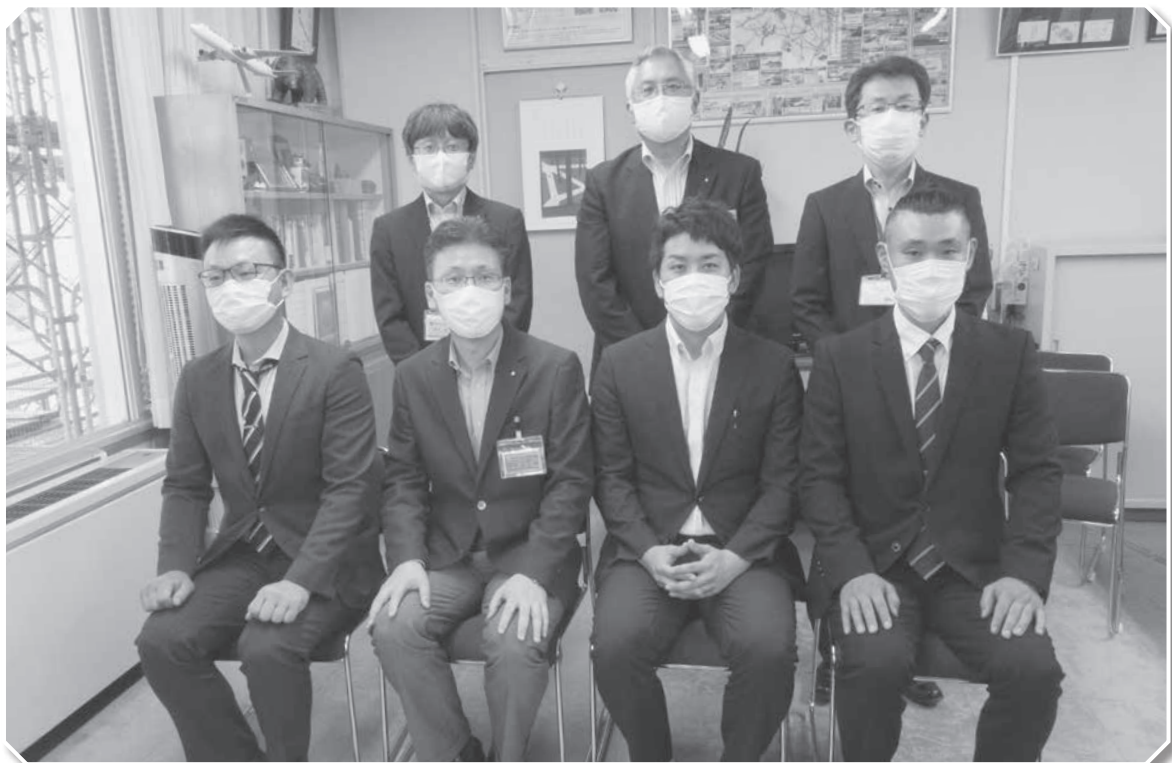
今回は新型コロナウイルスの関係で、役員のみ出席による書面議決での開催となりました。表彰についても発表のみとし、



令和元年度乳量出荷者表彰と今回新たに乳量前年対比一〇三%基準達成出荷者表彰を行いました。最高位出荷者に雪割牧場(有)をはじめ、上位出荷者十名と一〇三%基準達成出荷者十二名には記念品の贈呈をもってかえさせていただきました。

また、提出された議案も全て可決・承認されました。通常であれば、総会後の記念講演会、懇親会の開催をするところではありますが、このような状況の中で、残念ですが今回は自粛という形をとりました。来年はこの状況が良くなって、いつも通りの開催が出来る事を願っています。

酪青連新役員、関係団体へ挨拶回り



七月十五日(水)福島県農林水産部と各関係団体へ、福島県酪農青年研究連盟新役員が挨拶に伺って参りました。

斎藤忠義会長より酪青連の活動内容を紹介し、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により春に行われる予定だったホルスタインショーが中止となり、今後は情勢を見ながらできる範囲の活動をしていきたいと抱負を語りました。

農林水産部への訪問の際には、松崎浩司農林水産部長、



安田宏幸農林水産部次長、増田聡政策監、畜産課 森口課長、河原田副主査に対応いただき、松崎農林水産部長からは「酪農家は個人経営が多く、個々となりやすいが、このような集まりの中で情報共有や活動ができるのはとてもよいこと。新型コロナウイルス感染症の影響はあるかと思うが、活動自粛や中止ということではなく、新たな活動の方法を探し、会員の為にも活動ができるよう頑張ってください」とのお言葉をいただきました。

役員改選の年には、例年六月の牛乳消費月間と併せた訪問をしており、牛乳の贈呈や牛乳での乾杯をしておりますが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響により、そのような活動は実施することができませんでした。

今後新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらではありますが、酪青連として、消費者への県産牛乳のPRや様々な活動を実施してまいります。



通常総会開催（書面総会）

～ 役員改選により
新役員決まる!! ～

福島県酪農青年研究連盟（以下、酪青連）と福島県酪女性部やまびこ会（以下、やまびこ会）の両団体において、無事に総会が終了致しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、総会を書面により開催致しましたが、全提出議案において賛成多数により可決しております。

今回の総会では、両団体で役員改選があり、新役員が決定しておりますのでご報告致します。

酪青連は、会長に斎藤忠義さん（県中酪農研究会）、副会長に円谷真也さん（県南酪農研究会）、芳賀雄一郎さん（全農酪農同志会）、代表監事に宮田幸雄さん（浜酪農青年研究会）となり、三役は再選という形となりました。

やまびこ会は、会長に福田祐子さん（県中やまびこ会）、副会長に鈴木彰子さん（県北やまびこ会）、中瀬明美さん（県南やまびこ会）となりました。

新役員については、以下の名簿をご覧ください。

◆ 令和2年度 やまびこ会役員名簿 ◆

役職名	所属	氏名
会長	県中やまびこ会	福田 祐子
副会長	県北やまびこ会	鈴木 彰子
副会長	県南やまびこ会	中瀬 明美
監事	県北やまびこ会	渡辺 幸子
監事	県南やまびこ会	堀江 美登里
役員	県北やまびこ会	八島 由美子
役員	県中やまびこ会	橋本 あき
役員	県中やまびこ会	佐久間 静江
役員	県中やまびこ会	橋本 節子
役員	県南やまびこ会	塩川 美佐

◆ 福島県酪農青年研究連盟 役員名簿 ◆

（任期：令和2年4月～令和4年3月）

役職名	所属	氏名
会長	県中	斎藤 忠義
副会長	県南	円谷 真也
副会長	酪農同志会	芳賀 雄一郎
理事	県北	安齋 洋志
理事	県北	鈴木 敏之
理事	県中	橋本 幸太郎
理事	県中	今泉 洋
理事	県南	永瀬 寛之
理事	県南	木目澤 初実
理事	浜	柚原 友加津
理事	浜	井出 淳
理事	酪農同志会	古関 政人
理事	酪農同志会	遠藤 直人
代表監事	浜	宮田 幸雄
監事	県北	喜古 林尚行
監事	県中	渡辺 敏行
監事	県南	鈴木 貴徳
監事	酪農同志会	佐久間 哲次

農業用機械設備・農業用工作車 に関する保険のご案内

日常作業における交通事故や火災事故、盗難被害に備えてみませんか？
新規導入や現在使用中（中古機）の加入も可能です。
お問い合わせやお見積につきましては
福島県酪農協各支所、らくのう乳販保険課までお願い致します！

機械保険（財物に関する保険）

機械設備 不測かつ突発的な事故による損害

○保険金をお支払する主な場合

従業員員の誤操作による事故
異物混入による破損事故
設計・鋳造または材質の欠陥による事故
落雷・凍結による事故
ショート・スパーク・過電流などの電氣的事故
物体の衝突・落下による事故など



●保険金をお支払いできない主な場合

故意もしくは重大な過失によって生じた損害
火災および火災・化学反応による破裂・爆発によって生じた損害
紛失、盗難、詐欺または横領による損害
戦争、暴動、騒じょうなどによって生じた損害
地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた損害
暴風、雪崩、土砂崩れ・高潮、洪水などによって生じた損害
腐食、さび等によって生じた損害
自然の消耗もしくは劣化などの損害またはこれらによってその部分に生じた損害
機械のメーカーなど納入者が責任を負うべき損害など

(例)

	保険金額	年間保険料
バルククーラー	300万	22,200円
畜ふん攪拌乾燥機	500万	25,500円
TMRミキサー	1000万	62,000円

生産基盤推進室コラム

8月

「牛の体内でタンパク質はどう動く？」

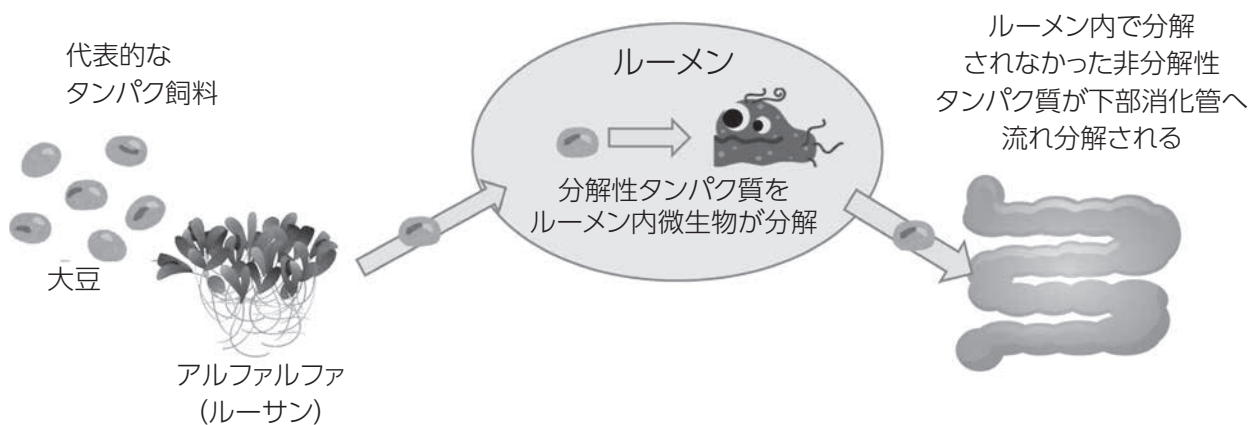
生き物にとってタンパク質とは生命活動を行うために必要不可欠な栄養素です。当然牛も乳生産、胎子の発育、増体のためにタンパク質を使っています。このタンパク質がどのように牛の体内で変化していくのかを今月号から説明していきたいと思います。

牛に食べられたタンパク質

牛は人や豚とは異なる複数の胃を持つ反芻動物です。人や豚といった単胃動物はタンパク質が口から入ると、胃や小腸において消化酵素がタンパク質をアミノ酸まで分解します。

しかし反芻動物が食べたタンパク質が初めに通るのはルーメン（第1胃）と呼ばれる巨大な発酵槽です。このルーメンには無数の微生物が棲んでおり、人でいう消化酵素の役割をもってタンパク質を分解します。ここで分解されるタンパク質を分解性タンパク質（RDP）と呼びます。

またルーメン内微生物にも分解できないタンパク質というものが存在します。これが非分解性タンパク質（RUP）です。非分解性タンパク質は別名バイパスタンパク質とも呼ばれています。非分解性タンパク質はルーメンを抜けると人と同じように小腸等の下部消化管にて分解吸収されていきます。これが牛に食べられたタンパク質の流れになります。



牛に食べられたタンパク質の流れ

牛も肉を食べている

タンパク質を含む代表的な飼料には図に示したように大豆やルーサン、ビール粕などの製造粕類が挙げられます（詳細な成分値を表1に示します）。しかし牛にとって大切なタンパク源がもう一つあります。それはルーメンに棲む微生物です。

上で示した大豆や粕類はいずれも植物性タンパク質ですが、実は動物性タンパク質からしか摂れない栄養素というものがあります。そのため、本当は牛も動物性タンパク質を求めているのですが、BSE問題発生から動物性タンパク質の家畜への給与は禁止されているので、口から入れられるのは植物性タンパク質のみとなります。しかし微生物タンパクとは紛れもなく動物性タンパク質ですので、牛にとっては貴重な「お肉」となります。

ルーメン内微生物に分解されたタンパク質は、微生物に食べられ微生物の血肉になります。

その後飼料片に付着した微生物はルーメンから下部消化管へ流れ、アミノ酸まで分解され吸収されます。その量は1日に2～3kgと言われ、多いもので4kg以上の微生物タンパクを吸収する牛もいると言われています。

今回はタンパク質の分解方法や、牛の体内での流れ等、タンパク質の基本的な内容を説明しました。来月号はタンパク質を飼養管理に活かす方法、また微生物タンパクを適正に給与するための飼養管理についてを具体的に解説していきます。

最後までご覧いただきありがとうございました。

表1 タンパク質を多く含む飼料

	飼 料 名	粗蛋白質含量
		(乾物中%)
粗飼料	シロクローバ（開花前）	27.8
	アカクローバ（開花前）	21.9
	アルファルファ（開花前）	26.2
植物性油粕類	大豆粕	52.2
	綿実粕	40.0
	加熱大豆	41.5
製造粕類	コーングルテンミール	44-71
	醤油粕	27.5
	ビール粕	26.8
	豆腐粕	26.1

日本標準飼料成分表より



全酪連の小窓 8月号 サシバエ対策



こんにちは！いつもお世話になっております。暑くて頭がボーっとする季節となりました。私は暑さにやられ食いどまり気味です。皆様も外に出る際は暑さ対策と水分補給を忘れずに、体調にお気をつけてお過ごしください。今回のテーマはサシバエです！

◎ サシバエの特徴

サシバエはサナギ、ウジとともに一般的なハエと見分けがつかないほど似ていますが、成虫は尖った口（吸血）、お尻が丸いのがサシバエの特徴です。

活動期間の最盛期は8～9月頃であり、朝・夕2回の吸血をされると言われております。こんな小さなハエでも吸血時に痛みが伴うことから牛にストレスを与えます。

サシバエが発生すると牛の搾乳時の落ち着きがなくなったり、生産乳量が落ちたりすることに加えて、牛白血病などの伝染病、黄色ブドウ球菌（SA）の乳房炎を媒介することもわかってきています。

例えば農場にて、牛が激しく尻尾を振る、皮膚をピクピク震わせる、腹のあたりを蹴るなどの落ち着きのない行動をとっていたり、フリーストールなどの放し飼いの環境で、数十頭が一か所に密集して立っているときなどは、サシバエが発生して牛にストレスを与えているサインです。



◎ サシバエと経済損失

サシバエによるストレスを受けた牛は採食、飲水、横臥などの休憩時間が減少します。そのため、大きくストレスを受けた牛は乳量が10%から最大20%程の乳量が減少すると言われております。

◎ サシバエの駆除・防除方法

・幼虫（ウジ）駆除がサシバエを減らす一番の近道になります。農場にいる成虫割合は20%と言われており、残りは卵・幼虫です。幼虫は牛舎内の柱の足元、飼槽や水槽周辺、バンクリ、堆肥場などの湿ってぬかるむ場所に発生します。

そのため、発生場所を特定して、マメな掃除をすることが第一歩です。

その上でウジを殺す薬剤を2週間に1度を目安に定期的に散布するとさらに効果的です。

・サシバエは夜になると牛舎周辺の草むらに戻り休息する習性があります。

そのため、牛舎周りの草を刈って休息場所をなくすことが効果的です。



◎サシバエの駆除・防除方法(つづき)

○駆虫剤の効果的な散布場所



- ・牛舎壁際
- ・飼槽壁際



- ・バンクリの残留場所
- ・牛舎角など糞や残滓など残留

*その他には、堆肥場や子牛のハッチの端、牛舎内のグチャグチャした所、いつも敷料が濡れている所、雨が吹き込む所への散布がお勧めされております。
また、用途に応じて液剤・粒剤など使い分けも効果的なようです。

○その他の方法

①牛舎の窓面にネット施工

- ・牛舎周辺に水田があるなど除草が困難な場合など特に有効な手段です。
- ・サシバエのサイズを考慮して、4mm以下メッシュのものにすると侵入防止になります。但し、メッシュが細か過ぎると風通しが悪くなるため、施工箇所とメッシュサイズには注意が必要です。



②耳標装着型の駆虫剤

- ・育成や放牧、フリーストールなどに特に効果的で、装着から半年程は効果が持続するそうです。
- ・牛体に付着する時間が短い種類のサシバエには効果が薄いといった話もあるようです。

駆虫に関しては、農場に出入りしている薬品会社さんなどに相談してみても良いかもしれません。



ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.188



～暑熱時の 乳房炎対策～

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

夏場は高温による乳房炎原因菌の増殖、暑熱ストレスによる採食量や免疫力の低下など、乳房炎に感染する危険性が増え、経済的にも大きな損失になります。

表1は体細胞数と乳量の損失割合を示したものです。年500tの生産量で体細胞30万の場合、損失金額は約360万円にもなります。

表1 体細胞数と乳量の損失割合

体細胞 (万/ml)	乳量損失 (%)
14~20	5
21~40	8
41~120	9~18

体細胞30万/mlの損失金額

(年生産量500t、乳価90円の場合)

・乳量損失:8% (左の表より)

・損失乳量:500t×8%=40t

年損失乳代:40t×90円=**360万円**

注) 10万/ml以下を0%とした場合

参考:Q&Aで理解する乳房炎コントロール

(ディリーマン)

1. 牛床の菌増殖を防ぐ

○カウトレーナーの位置を確認

牛床の汚れを防ぎます。牛が糞尿をする際カウトレーナーがき甲部に触れ、一步下がって糞尿が尿溝に落ちる位置に取り付けましょう。

○消石灰で消毒

乾燥・消毒効果があります。

牛床、通路を除糞後散布しましょう。

牛床は消石灰散布後(できれば一定時間おく)いったんほうきではきだしてから敷料を敷く方が乳頭の荒れを防ぎます。

○敷料交換・除糞の徹底

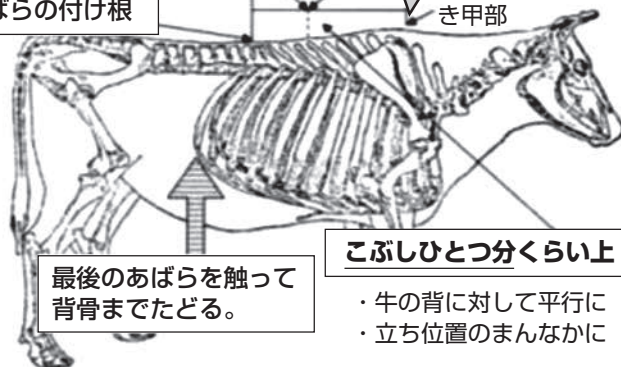
湿った牛床は乳房炎原因菌にとって好条件の培地となります。牛舎内を換気し、牛床は常に乾燥した状態を保ちましょう。特に敷料交換・除糞はこまめに行いましょう。

<き甲部とあばらの付け根の間>
付け根から1/3くらいのところに設置

最後のあばらの付け根

ここに
つける!

き甲部

最後のあばらに触って
背骨までたどる。

こぶしひとつ分くらい上

- ・牛の背に対して平行に
- ・立ち位置のまんなか

⇒牛が背を丸めて排尿姿勢を取った時に、カウトレーナーに触り、一步後退できるところにつける。

2. 暑熱ストレスから守る

○牛体への送風

暑熱対策の中で最も効果が高いといえます。特に夏場は熱の発散部位である首から肩（牛の上半身）への送風が効果的です。

○新鮮な冷たい水を与える

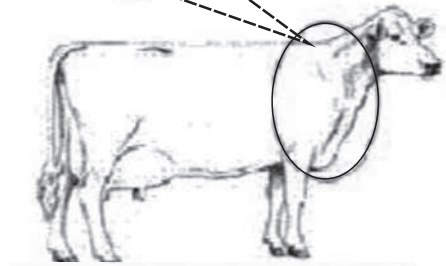
夏に水は必須!飲水量の制限は乳量、採食量に影響を及ぼします。

日を決めて定期的に清掃し、ウォーターカップの弁、吐水量に不具合がないか確認しましょう。

○日よけの設置

直射日光を防ぐと共に野生動物の侵入防止になります。特に強い西日の遮光は搾乳者にとっても快適です。

最も発汗量の多い首から肩付近に風がよく当たるように配置する



3. 牛の免疫力を高める

○消化率の高い繊維の給与

刈り遅れの粗飼料は消化に時間を要し、熱発生量の増加、採食量の低下を招きます。高消化性の繊維を含む中間飼料（ビートパルプ、ルーサンペレット）を利用し乾物摂取量の向上を図りましょう。

○ミネラル・ビタミンの補給

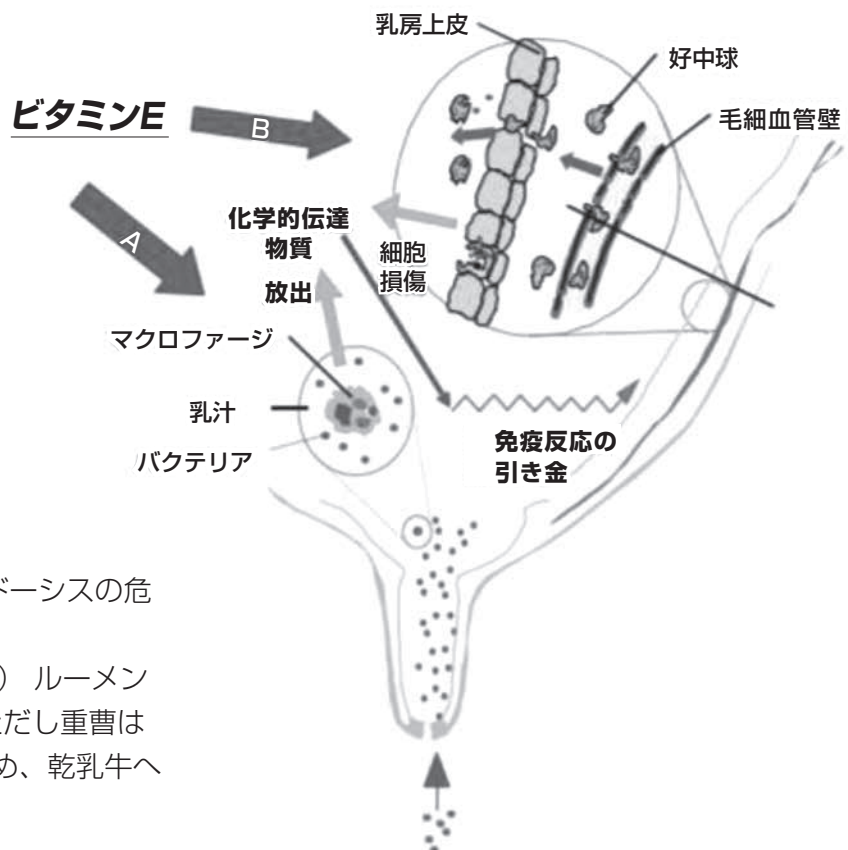
ミネラル・ビタミンは免疫機能や肝機能に関与し、夏場は発汗量の増加により不足しがちになります。

特に、分娩前後や高泌乳牛、食欲不振の牛にはビタミンEを2割~3割増給し、免疫力を高めてあげると乳房炎や繁殖成績が改善されます。

○重曹の給与

夏場は、涼しい夜間でのかため食い、反芻の減少によりアシドーシスの危険性が高くなります。

重曹を給与し（乾物中0.75%）ルーメンpHの安定化を図りましょう（ただし重曹はナトリウムを多く含んでいるため、乾乳牛への給与は避けましょう）。



乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2020年6月30日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北支所	35	37	94.6	558	230	185	526	705	1,416	2,204	2,286	96.4	63.0
県中支所	73	78	93.6	374	149	175	387	830	1,392	1,915	1,929	99.3	26.2
浜支所	7	8	87.5	79	36	32	59	115	206	321	340	94.4	45.9
県南支所	41	43	95.3	678	317	239	629	1,013	1,881	2,876	2,816	102.1	70.1
県酪合計	156	166	94.0	1,689	732	631	1,601	2,663	4,895	7,316	7,371	99.3	46.9

区 分	月別分娩予定頭数							販 売 乳 量				
	2020 7月	2020 8月	2020 9月	2020 10月	2020 11月	2020 12月	2021 1月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県北支所	119	149	128	130	160	132	123	35	35,238	1,007	28.6	24.9
県中支所	99	106	107	103	86	95	115	73	31,412	430	25.8	22.6
浜支所	20	19	21	15	20	15	17	7	5,454	779	31.3	26.5
県南支所	132	165	150	162	143	166	267	41	44,430	1,084	27.1	23.6
県酪合計	370	439	406	410	409	408	522	156	116,534	747	27.3	23.8

令和2年度受託乳量の状況

令和2年6月の受託乳量は、県全体で前年比99.5%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,495ト、前年比99.1%（対前年同31ト減）、全農県本部は1,689トの対前年比100.4%

（対前年同月6ト増）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比101.3%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比101.1%となりました。

令和2年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

全国的な緊急事態宣言の解除に伴い、休校していた学校が再開され、学校給食向け牛乳は前年並みの取引がされ落ちてきました。東北全体の用途向け販売数量は、前年比で飲用向けが100.3%、学乳向けが115.0%、醗酵乳向けが102.0%、生クリーム向けが103.9%と上回り、加工向けが96.3%、チーズ向けが82.7%と下回って推移しました。スーパー等の家庭消費用飲用向け牛乳の消費は引き続き顕著に推移していますが、全国的な悪天候が続いていることから、今後の消費動向が注視されているところ

です。昨年、梅雨明け後の急激な暑さに見舞われ、乳牛は

ヒートストレスにより県内の生乳生産量は前年比10%程低下しました。今後の気温上昇に伴い生乳生産量が減少する時期になるので、畜舎の暑熱対策と乳質管理（乳房炎と搾乳機器洗浄）に特に気を付け、生乳廃棄事故の発生が無いよう生産者の方々にはお願い致します。

また、皆様には引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大運動にご協力をお願い致します。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均57.7ト（前年比102.7%）で、本組合生産量の49.5%、県全体生産量の33.4%と処理量となりました。

令和2年度6月別支払乳価表

令和2年度の販売乳価は、全用途で前年度価格据え置きとなりました。

全国で流行している新型コロナウイルス感染症により、3月から休校していた学校も緊急事態宣言解除に伴い再開され、先月まで大量に処理されていた加工向け販売数量が前年並みとなり、6月は前年並みの生乳取引がされ乳価も安定してきました。

令和元年10月からの消費税増税に伴う軽減税率適用開始により、これまでプール乳価計算時に控除していた、全国連手数料・販売手数料・年度末精算資金がプール計算後の乳代精算控除項目として控除されることに伴い、見た目は前年対比でプール乳価、補給金、集送乳調整金単価を合せて前年より3円45銭9厘上回る単価となりました。

(東北全体6月)

用途別	販売乳量 (トン)	日量 (トン)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	28,968	966.0	100.3	68.0	68.6
加工向け	2,632	88.0	96.3	6.2	6.5
学校給食向け	3,017	101.0	115.0	7.1	6.2
醗酵乳向け	7,295	243.0	102.0	17.1	17.0
生クリーム向け	550	18.0	103.9	1.3	1.3
チーズ向け	139	5.0	82.7	0.3	0.4
合計	42,601	1,421.0	101.3	100.0	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

■東北全体プール乳代金 4,418,151千円 単価111.614円

■内 福島県分プール乳代金① 488,339千円 単価111.614円

プール対象外乳代金② 109,204千円

(学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 597,543千円 単価115.270円

項目	令和2年6月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	112円859	109円351	3円508	106円401
補給金単価	0円640	0円680	-0円040	0円652
集送乳調整金単価	0円195	0円204	-0円009	0円192
合計	113円694	110円235	3円459	107円245

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

団体別受託乳量の状況

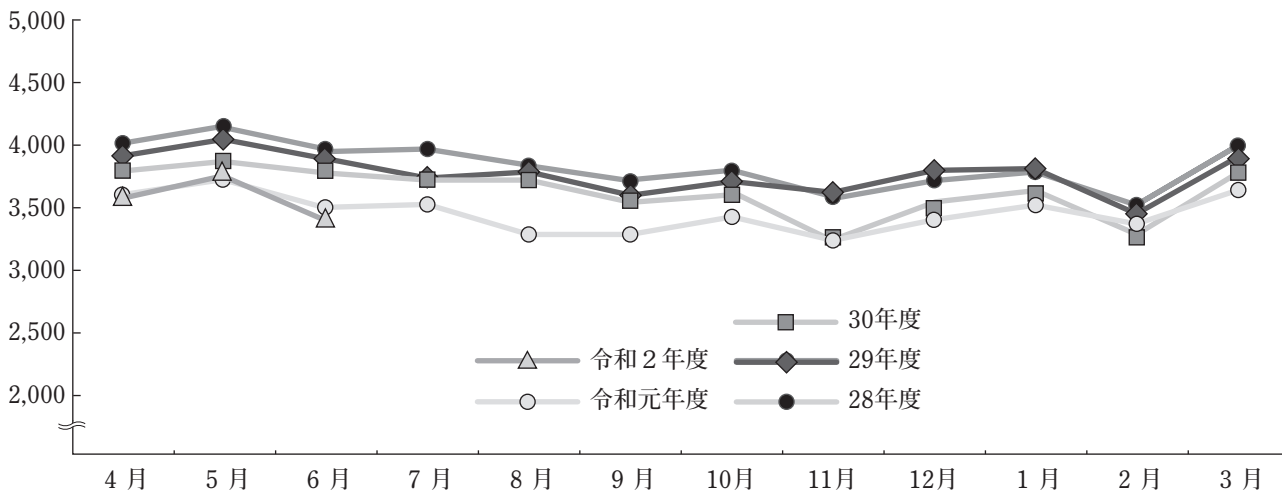
北海道：101.6%、都府県：100.3%

団体名	6月分		
	受託乳量 (トン)	日量 (トン)	前年比 (%)
県酪協	3,495	116.5	99.1
全農福島県本部	1,689	56.3	100.4
合計	5,184	172.8	99.5
東北生乳販連	42,602	1,420.1	101.3
全国	595,157	19,838.6	101.1

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495										
前年比%	99.5	100.1	99.1										

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
令和2年度	108.959	110.268	113.694										
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876	107.459	107.162	106.517	104.921	105.823	106.675	104.617	105.993

第297回 県酪協乳牛市場成績

令和2年7月14日開催

購買者数 20名（うち県外11名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	2 (100)	421,000 386,000	403,500 (108)	79 (77)	5,108 (141)
		雄	2 (100)	543,000 536,000	539,500 (117)	118 (107)	4,591 (109)
	乳 牛	メス	3 (100)	103,000 1,000	67,000 (87)	59 (100)	1,136 (87)
		雄	63 (100)	214,000 61,000	160,476 (116)	71 (101)	2,252 (114)
	交雑牛	メス	53 (100)	299,000 25,000	223,811 (94)	73 (99)	3,080 (96)
		雄	69 (100)	349,000 15,000	249,652 (88)	75 (94)	3,324 (94)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 （0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		<22	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54		
ET和牛	メス										1																		
	雄														1														
乳 牛	メス		1									1	1																
	雄								1		1	1	3	2	1	2	2	4	14	21	6	4		1					
交雑牛	メス	1			1	1	1	1	1	1	1	1	2	4	4	13	11	6	2		1	1							
	雄	1						2	1	1			4	3	3	5	5	12	9	9	7	4	2				1		

組合の動き 7月

7月3日	県酪女性部やまびこ会第2回役員会	7月21日	全酪連理事会
7月6日	全国農協乳業協会役員会	7月21日	全酪連通常総会
7月7日	三役・委員長合同会議	7月21日	東北生乳販連事業推進委員・実務担当者合同会議
7月7日	第4回理事会	7月27日	第4回経営検討会兼第4回再建検討委員会
7月9日	F D 24会通常総会	7月28日	福島県農業会議常設審議委員会
7月10日	東北生乳販連理事会	7月30日	酪青連役員会
7月14日	乳牛せり市場	7月31日	日本ホルスタイン協会通常総会
7月17日	酪王乳業(株)取締役会	7月31日	津島支部総会
7月17日	(株)らくのう乳販取締役会		
7月17日	福島県人工授精師協会総会		
7月20日	県中支所運営委員会		

理 事 会

第4回 7月7日

議 案

- 議案第1号 令和2年度夏季手当の支給について
 議案第2号 役員との貸付契約について
 議案第3号 畜産近代化リース協会事業による施設の借入並びに貸付について（追加議案）

報告事項

- 1) 座談会の報告について
 2) 今後の日程について



令和元年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



尚志高等学校
岡部 美里さんの作品

きつねのリゾットコロッケ



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

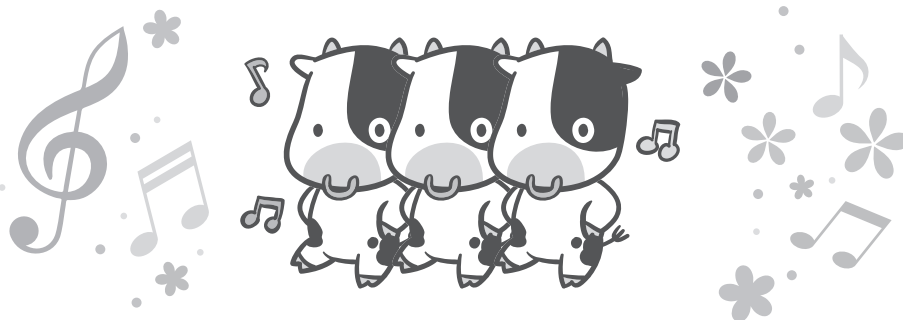
- ・オリーブ油 …… 大さじ2
- ・にんにく …… 2片
- ・しめじ …… 100g
- ・枝豆 …… 40g
- ・トマト (大) …… 1個+1/2個
- ・バジル …… 少々
- ・酒 …… 大さじ2
- ・みりん …… 大さじ2
- ・とろけるチーズ …… 90g
- ・鯖の水煮缶 …… 1缶
- ・醤油 …… 大さじ1+1/2
- ・ごはん …… 260g
- ・油あげ …… 12枚
- ・パスタ …… 4本
- ・トマトケチャップ …… 大さじ3
- ・パセリ …… 少々
- ・粗びき胡椒 …… 少々
- ・牛乳 …… 200ml

- ① フライパンにオリーブオイルをひき、ニンニクを入れて加熱し香りを出す。ニンニクを取り出したら、しめじ、トマト、鯖の水煮缶、バジル、枝豆を加え、炒める。
- ② ある程度炒まったら調味料 (酒、みりん、醤油) と鯖の水煮缶 (液汁) を少量加えて約2分煮る。
この時、ソース用に煮汁を別皿へ少し移しておく。
- ③ ごはん、牛乳を加えて約3分煮たらとろけるチーズをのせ、胡椒をふり、アルミで蓋をしてチーズを溶かす。
- ④ 油揚げを半分に切ったものを裏返し、その中に③で出来上がったリゾットと、とろけるチーズを入れて、パスタで閉じる。

- ⑤ ④を170度の油で揚げる。
- ⑥ ②で別皿へ移した煮汁にトマトケチャップを加え、ひと煮立ちさせたら盛りつけた上にかけて、パセリを散らして完成。

ポイント

- ・油あげを裏返して使用することにより、卵やパン粉を付ける必要がなく手間が省ける。
- ・油あげの口を閉じる際に、つまようじではなくパスタを使って留めることですべて食べられるようにしている。



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(∩o∩)する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
 - メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : yuuki-saitou@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>